

ザンビアにおけるハンセン病治療と回復者の生活

平成 19 年入学
派遣先国：ザンビア共和国
姜 明江

キーワード：ザンビア，やまい，農村，ハンセン病回復者，医療システム

対象とする問題の概要

ザンビアでは政府が医療システムの改革と充実に努めている。また旧国営企業やキリスト教ミッションも医療施設の運営に関与している。それらの医療施設は全国に点在しているが必ずしも人々に等しくいきわたっているわけではない。特に農村部においては日常的な疾患であっても医療施設の乏しさ、交通手段や金銭的問題などから人々は容易に医療へアクセスできない状況が広く存在する。

さらに、たとえ人びとが医療施設を利用できる地域に住んでいたとしても、やまいは医療という一元的な見方からだけで解決できない多面的な問題をはらんでいることもよく指摘されることである。とりわけ、やまいをさまざまな語りで説明し、伝統医療や宗教などによる治療や癒しに依存することの多いアフリカにおいては、やまいを日常生活に組み込まれたものとして多面的に考察する必要がある。

本研究では事例として療養所を退所したハンセン病回復者が興した村をとりあげる。彼らは後遺症を持ちながら、生業活動をし、日常活動を送っている。



乳幼児検診の日 キリスト教ミッションの病院にて（ザンビア東部州）

研究目的

やまいを医学的な見地からのみではなく、生業、食生活、居住形態などの日々の生活や周辺社会との

関係、宗教や儀礼などのあり方と関連したものにとらえ、人びとのやまいへの対応、そのコミュニティに存在するケアのあり方について探求する。また現在の状況が生み出された過程を、調査村の人々の経歴、医療施設の歴史、ザンビアにおける医療システムの変遷、という3つの観点を重ね合わせて考察する。

フィールドワークから得られた知見について

ザンビア東部州に位置するL村を調査地とした。今回は村の概要と村に移住してきた人びとの移動の歴史をとらえることを中心に調査を行った。L村から約4 kmのところキリスト教ミッションの運営するハンセン病療養所がある。1950年代に同療養所を退所した人々が集まり定住し始めたのがこの村の起源である。ザンビア国内だけでなく、周辺国を含む各地から人々がこの療養所に集まったため、同村には少なくとも5種類以上の異なる言語を母国語とする人びとが混住している。村内の共通言語としてニャンジャ語が用いられていることや、住居の形態などには周辺村の影響が観察されたが、成人儀礼など周辺村と差異がみられる行事もあった。村人の多くが療養所を運営しているキリスト教プロテスタントの一派に属していることも、村人の生活様式に影響を与える一要因として考えられよう。主な生業は農業であり、これは周辺村と同じである。

同村とは別に療養所周辺に患者・回復者たちが集まりコロニーを形成していた時期があるが、これは1980年代半ばに解散した。このコロニーの住民には病院から援助が行われていた。他方で、L村には病院や政府などからの特別な援助は現在までおこなわれてこなかった。L村に住む回復者の多くが程度の差はあるものの後遺症を抱えて生活している。今では世代交代により、回復者の子孫たちが中心となって生業活動を担っている。しかし、回復者たちは、食事や着衣、排泄などといった基本的な日常生活から、儀礼や宗教活動などを以前と変わらずおこなう必要がある。L村に対してこれまでに援助がおこなわれてきていないことを考慮すると、彼らがかつて療養所を退所後にL村に移住し生活を始めるにあたっては、介護者になりうる家族がともに入村可能だったかどうかや、後遺症の程度などに条件が定められていた可能性がある。また後遺症による影響を補うための、L村独自の人間関係や生活の工夫が築きあげられている可能性も指摘できる。今後は、L村において人と人のつながりを作り得た背景について、お互いが回復者であるという連帯や、宗教、もしくは他の要因がどのように作用しているのかを明らかにしていきたい。



調査村 ダンスに行く子供たち



調査村の教会 祈りをささげる

今後の展開・反省点

次回の調査では、さらに考察を深めるため、資料収集、聴き取りを続ける。まず調査村では、回復者はどのような生活基盤（生業、収入、食糧の獲得方法、家族構成、友人関係など）を持ち、その上で誰によってどのようなケアが行われているのかを明らかにする。また、それぞれの回復者の日常生活活動（ADL：Activities of Daily Living、身体活動能力や障害の程度をはかるための指標）と健康状態についても調査する予定である。そして保健省、療養所での聴き取りと資料収集も継続して行う。そこから回復者を含めた人びとがL村に到った経緯を明らかにする。またその重要な背景のひとつである、ザンビアにおける医療システムの変遷についても調べたい。それらに今回の調査で得た村や療養所についての基礎的な情報を統合して分析することにより、L村における人びとのやまいへの対応、コミュニティに存在するケアの在り方について解明する。さらに、介護を必要とする人々をアフリカの社会はどのように支えるのか、より広い文脈でも理解するよう努めたい。